

【インターネット通信の暗号化方式「SSL3.0」の脆弱性対応について】

インターネット通信の暗号化方式「SSL3.0」に、暗号化されている通信の内容が漏えいする可能性があるとの脆弱性が発見されました。そのため、本システムにおいても、「SSL3.0」を無効にする対策を実施します。

- ・「TLS1.0」以降の暗号化方式に対応していないブラウザ及び携帯電話
- ・「TLS1.0」以降を使用する設定を行っていないブラウザ及び携帯電話

本システムに接続ができなくなった場合は、ブラウザの設定を確認し、「TLS1.0」以降を使用するように設定変更をお願いいたします。

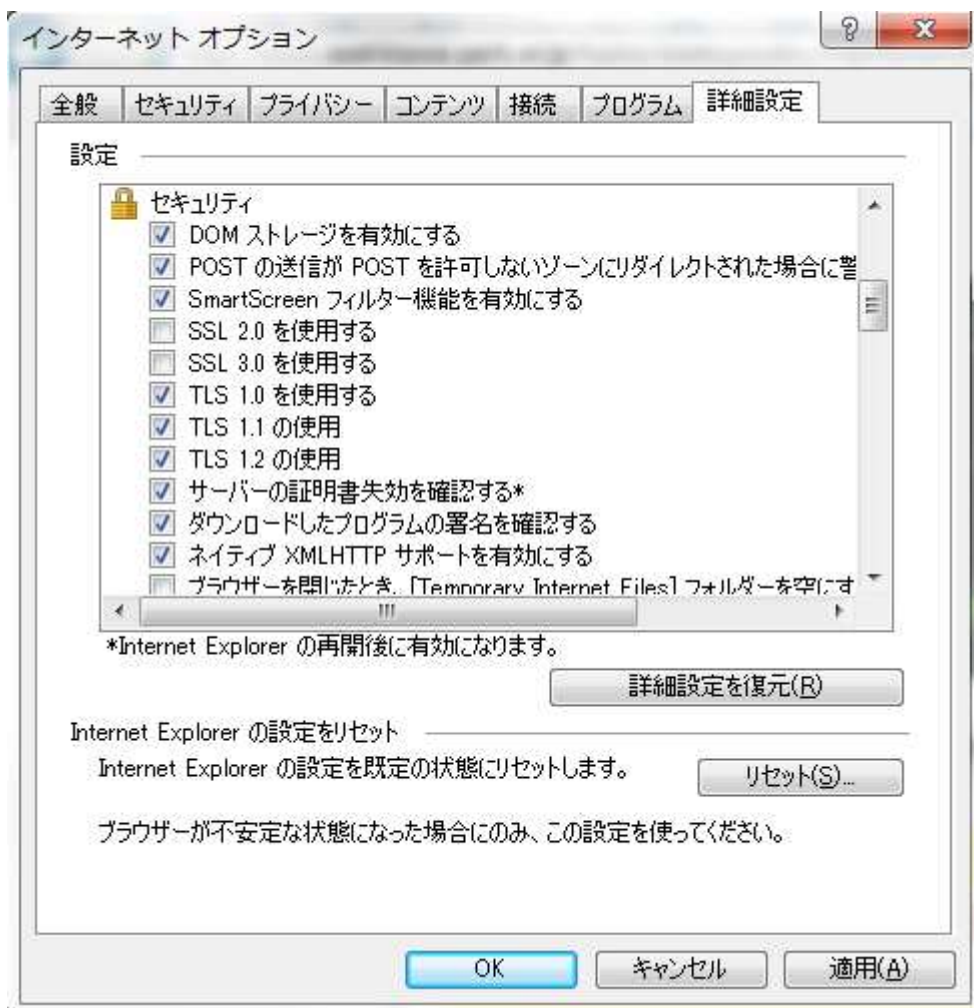
下記に例として Internet Explorer の「TLS1.0」以降を有効にする設定方法を記載いたします。

2024年3月26日未明に SSL 3.0 を利用したアクセスを、無効化する設定にさせていただきます。

ご利用者様にはご不便をおかけしますが、セキュリティ強化のために必要な対策ですので、ご理解の程よろしくお願いたします。

■Internet Explorer の「TLS」を有効にする設定方法

- ①Internet Explorer を立ち上げ、メニューバーより [ツール] ⇒ [インターネット オプション] を選択します。
- ②インターネットオプションのタブから [詳細設定] を選択します。
- ③[セキュリティ]から[SSL 3.0 を使用する]のチェックを外し、[TLS 1.0 を使用する]、[TLS 1.1 の使用]、[TLS 1.2 の使用]の全てにチェックを入れます。
- ④[適用]ボタンをクリック後、[OK]ボタンをクリックし設定画面を閉じます。
- ⑤Internet Explorer を再起動します。



以上